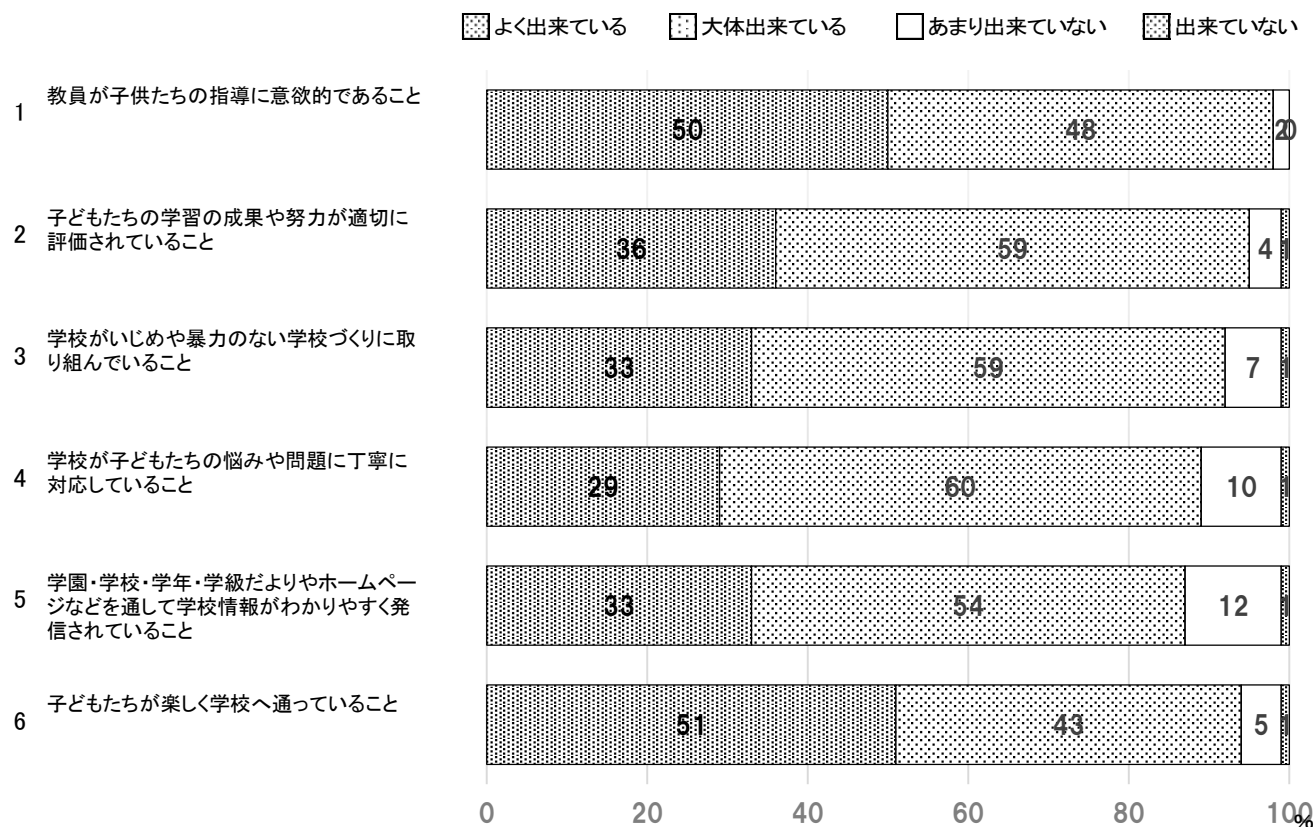


令和3年度 三鷹中央学園 学園・学校評価アンケートまとめ

【第三小学校】

アンケート実施日 : 令和3年10月28日～11月5日
 アンケート対象者 : 第三小学校保護者
 回収率 : 453世帯/601世帯(75%)



アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計
 ※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

成果

質問項目は昨年同様に6項目としました。肯定的回答の割合は1「教員が子供たちの指導に意欲的であること」は昨年度比4%増の98%と最も高く、2「子どもたちの学習の成果や努力が適切に評価されていること」と4「学校が子どもたちの悩みや問題に丁寧に対応していること」はともに2%増、3「学校がいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいること」と5「学園・学校・学年・学級だよりやホームページなどを通して学校情報がわかりやすく発信されていること」は1%増と5項目でやや上昇しましたが、6「子どもたちが楽しく学校へ通っていること」は2%減となりました。また、肯定的回答のうち、最良回答の「よく出来ている」の割合が1で10%増、2と3と6で8%増、4で6%増、5で5%増となっています。これらは新型コロナウイルス感染対策における新しい生活様式による取組を保護者のご理解ご協力を得ながら進めてきた成果と捉えます。引き続き、学校の取組をよく説明し、家庭・地域との連絡を密にしなが、学びの充実を図ってまいります。

課題

全項目ともに肯定的回答のうち、最良回答の「よく出来ている」の割合が40%を超えるように、引き続き、学校の取組を分かりやすく発信してまいります。

また、否定的回答の割合が高い傾向にある項目は、5「学園・学校・学年・学級だよりやホームページなどを通して学校情報がわかりやすく発信されていること」は13%(昨年度比1%減)、4「学校が子どもたちの悩みや問題に丁寧に対応していること」は11%(昨年度比2%減)となっているので、更に全教育活動で個別の対応を充実させるとともに、その取組を広く伝えていけるよう努めます。

学園研究や校内研究を通して、児童一人一人に最適な方法・内容を工夫しながら、分かる・できる学習の充実を図り、どの子にとっても明日の登校が待たれる学校を目指すとともに、保護者・地域との協働によって学びの共同体としてのスクール・コミュニティを充実させてまいります。